



BANANA

ユニフルーティーのバナナ

ユニフルーティーのバナナは、フィリピンにあるグループ会社が管理、栽培する農園のバナナを入荷。年間を通じて日本へ供給しています。フィリピンでのバナナの栽培、日本への輸送、輸入通関、日本に着いてからの追熟加工、流通に至るまでを対応しています。フィリピンの自社管理農園においては、各種第三者認証を取得するなど、より持続可能な農業への取り組みを行っています。

LINE UP

最高峰バナナ

芳醇な香りと濃厚でコクのある甘み。ミンダナオ島の輸出バナナ農園の中でも約0.2%*しかない、厳選された農園でのみ栽培されています。味、品質ともに最高峰を目指したバナナです。*2014年/弊社調べ



天晴れ農園 金の房

果肉ぎっしり。食感もちり。豊富なデンプン質をじっくりと糖化した絶品の甘さとその品質は、まさに天晴れ(あっぱれ)環境の整った高原の農園で長期熟成栽培された一本一本が濃厚なバナナです。



ごほうびバナナ

リッチな甘さとクリーミーな口当たり。昼夜の寒暖差が大きな高原の農園で、およそ12か月以上の期間にわたり長期熟成栽培されています。安定したおいしさが魅力のバナナです。



こだわリッチ

しっとりとした食感と風味豊かな甘さ。環境に配慮された健全な土壌と清浄な水は、バナナの栽培にはとても重要です。限定された農園で大切に育てられた、ひと味違ったバナナです。



やさしさバナナ

すっきりとした定番の甘さ。フィリピン・ミンダナオ島の農園で管理、栽培され、太陽の光をたっぷり浴びてスクスクと成長しました。安定した品質とフレッシュなおいしさが魅力の定番バナナです。



ユニフルーティーバナナ

すっきりとした定番の甘さ。やさしさバナナと同様、フィリピン・ミンダナオ島の農園で管理、栽培されています。いつも食卓に置いておきたい、気軽に食べられる定番感が魅力のバナナです。



キャラクターバナナ

栄養強調表示

ミニオンなどの、キャラクターデザインのバナナ。複数デザインの商品ステッカー展開や、季節や商品ごとに異なる支援ツールなどが店頭を彩ります。

原産国：フィリピン



©UCS LLC

少量パック

ちょうど良い食べきりサイズのパックが欲しいというお客様のニーズにお応えして、3本や2本1パックの商品をご用意しています。該当する商品については、担当者までお問い合わせください。



> バナナの販売スケジュール

バナナは年間を通じて安定的に販売をしています。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

> フィリピン産バナナ 農園での取り組みについて

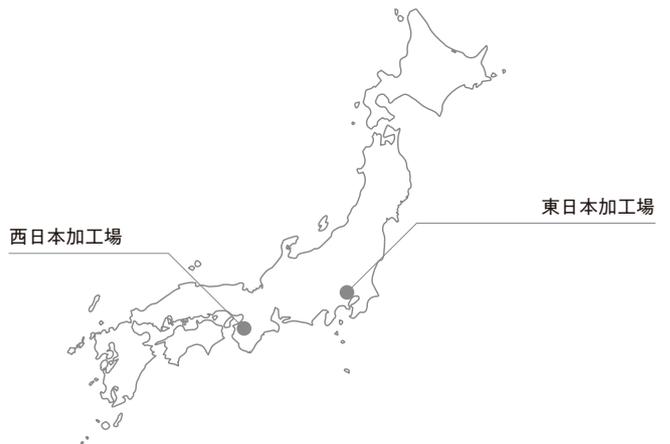
・主な農園について

バナナの農園はミンダナオ島に広く展開していますが、バナナの多くはブキドノン州周辺の農園で栽培されています。



・追熟加工拠点

東京と神戸の自社加工場を中心に展開していますが、全国の協力会社とのアライアンスにより、日本全国への流通を可能にしています。



・より持続可能な農業への取り組み

フィリピンの自社管理農園において、各種第三者認証を取得。

野生生物の保護、土壌と水源の保全、農業の制限や廃棄物の管理、労働者の適正な給与、労働者とその家族および地域社会の生活向上、医療や子どもたちの教育へのより良いアクセスの確保などを通じて、より持続可能な農業の実現に向けて活動を続けています。

生態系を守る。

農地周辺の森林伐採を禁止し、バッファゾーンを設けています。多様な樹木の植林を促進し、森林再生や野生生物の生息地の保全に積極的に取り組んでいます。



土を守る。

農園では殺虫剤や除草剤の使用を極力抑え、手作業での害虫駆除や除草も行います。適度に雑草が残ることで土壌浸食による海の汚染予防にもつながっています。



水を守る。

収穫したバナナを洗浄する水はリサイクルされています。排水処理システムを導入し、「ラグーン」と呼ばれる溜め池を経由した後に自然にかえします。



人に優しい。

農園では従業員の健康と安全を守り、医療や教育へのより良いアクセスを確保するサポートもしています。また地域社会との共存を目指し、緑化や学校支援など地域貢献に努めています。





AVOCADO

ユニフルーティーのアボカド

ユニフルーティーのアボカドは、ペルーにあるグループ会社が管理、栽培する農園のアボカドを中心に、メキシコなどのパートナーからも入荷し年間を通じて日本へ供給しています。2024年、ペルーにおいて約3,000haのアボカド農園がユニフルーティーグループに加わり、生産から流通、販売におけるプレゼンスを高めています。

LINE UP

ペルー産アボカド

日本の夏場に旬を迎えるペルー産アボカド。ユニフルーティーは、本来の高品質なペルー産アボカドをお届けするために、100%自社農園からDM(ドライマター)の値が高いアボカドのみを厳選して、日本市場へお届けするようにしています。



メキシコ産アボカド

メキシコアボカドの主要産地は、ミチョアカン州、ハリスコ州、メキシコ州、ゲレロ州、モレロス州など。世界的な需要増に合わせて園地も拡大しています。ユニフルーティーのメキシコ産アボカドはパートナー企業のハリスコ州産を中心に日本に入荷されます。



販売支援ツール

アボカドの販売支援のためのツールとして、スタンドバックやPOPなどを用意しています。



> アボカドの販売スケジュール

アボカドはペルー産、メキシコ産の産地をリレーする形式で年間を通じて販売をしています。

※想定販売時期となります。実際の販売は年度により異なります。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
メキシコ産												
ペルー産												

> アボカドTOPICS

・ペルー産アボカド生産風景

24・30・35sは6kg箱で、プレミアム大玉は入数を抑えた4.0kg箱で供給します。



・日本での品質チェック

ユニフルーティージャパンでは、入荷したアボカドの検査を日本でも行っています。現地の検査結果と照合しながら、生産改善を行っています。



・オルモス灌漑プロジェクト

オルモス灌漑プロジェクトは、ペルーのアンデス山脈で行われた大規模な工事です。このプロジェクトは、リオ・ファンカバンバ川の水をオルモス溪谷に送って、乾燥地帯を農地に変えることを目的としています。プロジェクトには次のような重要な要素があります。

- ・リモン・ダム建設
- ・アンデス山脈を横断する全長20kmのトンネルの掘削(川の水を太平洋側へ流すため)

この計画によって、多くの土地が新しい農地として利用可能になり、最新の地盤モニタリング技術を使って安全性も確保されています。また、地域の持続可能な農業開発を支える仕組みが整えられています。ユニフルーティーペルーのアボカドはオルモス灌漑プロジェクトで開発された農園で生産されています。





GRAPE ユニフルーティーのブドウ

ユニフルーティーのブドウは、チリとペルーにあるグループ会社が管理、栽培する自社農園のブドウを中心に、アメリカなどのパートナーからも入荷し年間を通じて日本へ供給しています。2024年、南米の主要フルーツ生産・輸出会社であるベルフルト (Verfrut) 社がユニフルーティーグループに加わり、生産、供給力も強化されています。

LINE UP

トップシールパック

容器の天面をフィルムで覆う包装形態の商品です。蓋部分のフィルムは販売時は容器と密着していますが、シールをはがすように簡単に開封できます。従来の包材に比べ、30%程度のプラスチック削減効果も期待できます。



各種パック商品

緑、赤、黒、ミックスとバリエーション豊かなパック商品です。日本国内で販売しやすい形態にパックしています。



産地パック

アメリカ、チリなどの産地でパックされた商品です。Candy Hearts などの入荷時期、数量が限られる品種の入荷や、日本向けの商品の開発などは産地との良好な関係から実現しています。



> ブドウの販売スケジュール

年初のチリ産からはじまり、初夏メキシコ、その後アメリカ産と産地をリレーすることで、通年販売をしています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
チリ												
ペルー												
メキシコ												
アメリカ												



> チリ産ブドウ 農園での取り組みについて

・主な生産地域

南半球に位置するチリは、アタカマ州のコピアボから収穫がスタートし、産地が南下していきます。オイギンス州の生産量が最も多く、全体の1/3程度を占めます。また、このエリアの収穫が始まるころには、近隣のバルパライソ州や首都州からの供給もあり、ブドウの生産はピークをむかえます。



※各州のぶどう生産量の構成比

・販売支援ツール

ブドウの販売支援のためのツールとして、各種POPをご用意しています。



・主な品種と入荷時期

品種	1月			2月			3月			4月			5月			6月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
シュガーワン																			
トンブソン																			
ティンブソン																			
アイボリー																			
スウィーティーズ																			
オータムキング																			
オータムキングクリスプ																			
グレートグリーン																			
ティムコ																			
アリソン																			
ジャックサルート																			
マジェンダ																			
クリッシー																			
スウィートセブレーション																			
ミッドナイトビューティ																			
スウィートフェイス																			
アドーラ																			
セーブル																			
スウィートサファイア																			
ブラックムーン																			
キャンディハーツ																			
レッドグローブ																			

※チリ産のブドウは約1か月かけて日本に到着します。

・社会的責任「品質、衛生、食品の安全性、そして、環境保護」への取り組み

ユニフルティーチリの全てのブドウ農園では、GLOBALG.A.P. 認証を取得しております。また、HACCPとBRC(英国小売り協会)の定める品質・衛生管理システムに基づき、第三者認証機関の定める厳格な基準をクリアしています。





KIWI

ユニフルーティーのキウイ

ユニフルーティーのキウイは、南半球にあるチリのグループ会社が管理、栽培する自社農園のキウイを中心に、北半球のジョージア、アメリカなどのパートナー企業からも入荷し年間を通じて日本へ供給をしています。

LINE UP

ジョージアキウイ

ジョージア産のグリーンキウイです。年間を通じて食卓にのぼるキウイフルーツですが、日本に輸入されるものの多くは南半球で栽培されており、4月から12月ぐらいまでが主なシーズンです。ジョージアキウイは1月から4月の間もおいしくなるように栽培されています。

原産国：ジョージア



チリキウイ

チリ産のグリーンキウイです。南半球のキウイのシーズンを通して入荷しています。チリ産グリーンキウイの販売時期は5月中旬から12月ごろまでが主なシーズンです。

原産国：チリ



ハニーキウイ

アメリカ カリフォルニア州産のハニーキウイです。ハニーキウイは、グリーンキウイに比べて酸味が控えめ。しっかりと追熟されて食べごろになったハニーキウイは、甘さをしっかり感じられることが特徴です。

原産国：アメリカ



<ミニオン>ファミリーパック

「おいしいって、たのしい!」をコンセプトにした、ファミリー向け大容量パックです。人気のキャラクターのミニオンを起用したパッケージで、お子様にもお楽しみいただけます。



> キウイの販売スケジュール

キウイはジョージア産、アメリカ産、チリ産などの産地をリレーする形式で年間を通じて販売をしています。

※想定販売時期となります。実際の販売は年度により異なります。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ジョージア産/グリーンキウイ												
チリ産/グリーンキウイ												
アメリカ産/イエローキウイ												

> ジョージアキウイTOPICS

・ジョージアってこんな国

ジョージアはヨーロッパとアジアの中間に位置し、美しい山々と黒海に面した歴史文化のある国です。フルーツを育てるのに良い環境のためキウイフルーツ以外にもブドウの栽培が盛んに行われており、ジョージア産ワインの生産地としても有名です。



・ジョージアキウイの輸送経路

ジョージア国を出港して、東京までの輸送期間はおよそ55日間です。



・販売支援ツール

キウイの販売支援のためのツールとして、スタンドパックなどを用意しています。商品を連想させるデザインが店頭を彩ります。



会社概要

株式会社 ユニフルーティー ジャパン Unifrutti Japan Corporation

本社所在地	〒100-6217 東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内 17F
設立	1962年(極東フルーツ株式会社) 2009年 株式会社チキータ ユニフルーティー ジャパンより 現社名 株式会社 ユニフルーティー ジャパンに変更
資本金	3億1000万円
親会社	Unifrutti Asia B.V.
代表者	代表取締役 ケナード・ウォング
従業員数	89名(契約+派遣社員を含む) [2024年12月時点]
事業内容	1.バナナその他の果実および野菜、ならびにこれらの加工品の輸出入、貯蔵、加工および売買 2.前号に関する一切の業務
売上	325億円(2024年12月期) 302億円(2023年12月期) 238億円(2022年12月期) 210億円(2021年12月期) 204億円(2020年12月期) 181億円(2019年12月期) 172億円(2018年12月期)

事業所

本社兼東日本事務所	〒100-6217 東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内 17F
西日本事務所	〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通3番地 シップ神戸海岸ビル 11F
東日本加工場(大井)	〒143-0001 東京都大田区東海6-3-2 東京食品ターミナル東館 M4F
西日本加工場(神戸)	〒650-0045 兵庫県神戸市中央区港島7-1 L-4 青果センター内 3F

